- (1) 日本はアメリカの属国である。
- (2) 米、日本に約300キロのプルトニウムを返還要求
- (3) 小泉・細川「自然エネルギー推進会議」設立の真意」
- (4) 勝俣恒久東電元会長の実弟・勝俣宣夫は丸紅社長・会長時代に豪州からウランの輸入。日立の社外取締役に就任。日立は実兄の恒久氏の東電と密接な繋がりを持つため。
- (5) 中曽根は本当にキノコ雲を見たのか?
- (6) 中曽根・正力「米国のエージェント・コンビ」「原子力の平和利用」米国への戦後賠償として原発導入。
- (7) 日本の原爆開発・二号研究 仁科博士(理研)
- (8) 原爆の開発責任者の仁科博士が戦犯を逃れ理研の所長に 就任した理由は何か?
- (9)「理研」今回、小保方事件を起こした理研は神戸医療産業都市構想に従って、2002 年、新たに神戸にできた理研の **発生・再生科学総合研究センター** だということに注目する必要がある。

この構想を設計したのは、米戦争屋系のゼネコン・ベクテル。 ベクテルは明石海峡大橋のボーリング工事を請け負っているが、 1995 年の阪神淡路大地震の震源地をボーリングしていた企業 として有名。

米戦争屋ネオコン CIA にとって、旧日本軍の先端技術研究所であった理研がさらに「発生・再生科学」にも手を出すことは許し難いということらしい。

なぜならばこの分野はロックフェラー大学医学部(優生学の研究)や生物兵器の研究の領域を冒すことになるからだ。

- (10)アメリカが湯川博士にノーベル賞を授与した真意
- (11)ベクテル社
- (12) リオ・チント・ジンク グラバーの実質上のスポンサーであるジャーディン・マセソン商会のヒュー・マセソンは1873年3月に鉱山採石最大手と知られるリオ・ティント(リオ・ティント・ジンク)を設立し、1898年まで会長を務めた。大株主の中にロスチャイルド財閥があった。経営に大きな発言力を持った。
- (13) 原子力産業の仕組みはロスチャイルドが作った

「シュレフテルの雨傘」 ラー・アーか再外廻工場 アンディートラリアムス / Will wait for You. 1970